

イベントのお知らせ

広瀬軌道から仙山線へ

～大正時代における鉄道普及の一事例～

講演：郷土史家・仙台市博物館学芸普及室長
菅野 正道 氏

関山街道フォーラム協議会講演会

Photo 仙台市小田原付近を走る蒸気機関車 (仙台市博物館所蔵)

5月21日(土)

15:00～17:40

(講演会・活動事例発表)

- 会場：広瀬市民センター セミナー室
- 申し込み：不要 直接会場へ
- 定員：80名

当日は講演会・活動事例発表の他に、関山街道フォーラム協議会総会・交流会があります。興味関心のある方はぜひご参加ください！

◆◆タイムスケジュール◆◆

- ①総会 13:00～14:30
*****【会場準備】*****
- ②第1部 講演会 15:00～16:30
- ③第2部 活動事例発表 16:40～17:40
・仙台市宮城地区郷土史探訪会 会長 矢作 清勝 氏
・作並温泉旅館組合 廣泉閣岩松旅館 畑中 健一 氏
・コメンテーター 宮城学院女子大学学長 平川 新 氏
- ④交流会 18:00～
※交流会のみ申し込みが必要です。⇒※※※※※
関山街道沿線で活動している団体の皆さんと街道談話を行います。
【参加費】3,500円程度 (当日現金します)
【会場】旨いもん角屋 愛子店
〒989-3124 仙台市青葉区上愛子2-3
TEL 022-391-1850



Photo 秋保石野鉄道株式会社 (秋保石野鉄道株式会社蔵)

【交流会のお申込みは…】

はがきまたはFAXで広瀬市民センターへ

5月15日(日)までお申込みください。

(氏名、住所、電話番号、所属団体等を記載)

仙台市広瀬市民センター

〒989-3125 仙台市青葉区下愛子字観音堂5

FAX 022-392-9410

■問い合わせ先 090-7939-1855 (横山 18:00～)

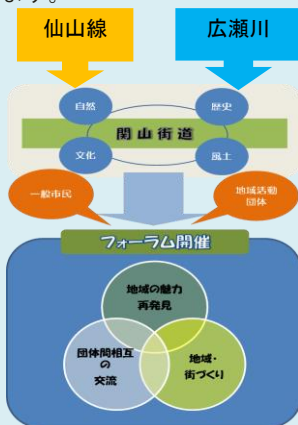
主催：関山街道フォーラム協議会 【みんな presents まち・むすび助成金事業】

◇関山街道フォーラム協議会とは◇

関山街道フォーラム協議会は、関山街道沿線で活動している市民活動団体・企業・行政等が、地域の自然、歴史、文化、風土等の豊かな自然を掘り起こし、活用しながら地域活性化を目指している団体です。

平成23年12月に「関山街道フォーラム実行委員会」が発足、平成24年5月に「関山街道フォーラム」を開催しました。その後「土の道部会」を立ち上げマップ作成や探訪会等の事業、また関山街道と並行して走る仙山線に焦点をあてた事業開催のため「鉄の道部会」を立ち上げ取り組んでいます。

平成24年12月8日に「関山街道フォーラム協議会」として名称を改め、地域の魅力を発信していくことを目標に活動をしています。



■参加団体■

作並温泉旅館組合
みやぎ建設総合センター
八幡地区まちづくり協議会
広瀬川市民会議
仙台西国VSP連絡協議会
定義観光協会
ニッカウエスキ

(株)仙台工場

大倉ふるさとセンター
宮城地区郷土史探訪会
愛子の郷交流会
ひろせの底力
仙台・作並回文の里づくり
実行委員会

土木学会東北支部
みやぎ街道交流会
みちのく鉄道応援団
仙台市宮城総合支所
仙台市広瀬市民センター

オプザーバー

- ・宮城県震災復興・企画部
震災復興政策課
- ・仙台河川国道事務所
仙台西国道維持出張所
- ・山形県村山総合支庁 総務企画部
総務課 地域振興室
- ・仙台市河川課広瀬川創生室
- ・東日本旅客鉄道(株)仙台支社
仙山線愛子駅

よろしかったら、スタッフとして一緒に活動してみませんか！

●団体会費5,000円●個人会費2,000円●賛助会員一口1,000円

発行：関山街道フォーラム協議会

■問い合わせ先：関山街道フォーラム協議会 事務局
携帯 090-7939-1855 (18:00以降)

HP: <http://sekiyamaforum.web.fc2.com/>

Facebook もぜひご覧ください！

仙台まち歩きガイド養成講座に参加しました！

仙台を深く愛する市民の声で一味違ったまち歩きガイド冊子が出来ました(発行:仙台市観光交流課)。コースを作るにあたっては、ディープなボランティアガイド養成講座が！関山街道フォーラムからも3名参加し、愛子の歴史散策コースも作成し、紹介していただきました。ぜひ一読を！



■街中コースの一例

- ・仙台の和菓子と東北の民藝
あじわい散歩
- ・タモリさんも歩いた「水と地形
の散歩道」 など25コース

問い合わせ先：

仙台ふららん事務局 (株式会社ゆいネット内)

■TEL 022-726-0341

■FAX 022-726-0343

<http://www.sendai-furaran.com/>

ニュースレター vol. 6

関山街道フォーラム協議会

リレー巻頭言

新しい5カ年に向かって
小さな一歩を関山街道フォーラム協議会
事務局長

横山 修司

東日本大震災の年に活動を初めて5年目を迎えます。この間、フォーラムの開催、関山街道さんぽマップ作成や沿線団体と連携して探訪会を続けてきました。顧問の先生方から講演等で土(関山街道)・鉄(仙山線)・水(広瀬川)が走る地域とのご教示で「鉄の道部会」も立ち上げ、広瀬市民センター企画講座での仙山線踏切調査の実施、作並駅駐車場の掘り起こしに繋がりました。その結果、平成26年に仙山線鉄道施設群が土木学会の選奨土木遺産に認定されました。

この地域には魅力ある眠れる宝が沢山あり、それは人の発掘にも言えると思います。

広げ過ぎではとの声もありますが、これからも登りたい山を決めながら、まずは小さな一歩を踏み出したと思います。苦しい時には共に手を取り、楽しみながら活動を継続して行きたいですね。

次の5カ年は、約20年前の「作並地区整備基本構想(屋根のない自然博物館)」の再検証。「よみがえるふるさと」の歴史講座での、歴史資料の発掘・保存、古文書の読み解き。地域に誇りと愛着を持ち、地域に根ざしたモデル的な活動の実践・展開を期待しています。

協議会に参画、参加いただける団体・個人の方、是非、一緒に活動に取り組みましょう。これからもよろしく願います。

みんな presents まち・むすび助成事業

行事实施報告

「関山隧道と嶺渡り」街道探訪会

土の道部会

■日 時：平成 28 年 4 月 29 日（金・祝）9:00～14:10
■参加者：一般参加 16 名/スタッフ 12 名（サポート 2 名）

1



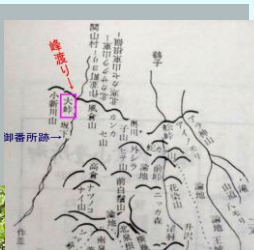
2



3



4



6

5

参加者レポート 「嶺渡り」は大峠だった…

七ヶ浜町 鈴木七雄

背中にポタポタと流れ落ちる水滴に冷たさを感じ、真っ暗な隧道を通り抜ける自転車少年。5 日目となった自転車旅行の最終日は日本海から自宅までの 150km を走る。台風が接近しての向かい風はペダルが重い、そんな状況で行程中最大の難所は関山越えである。新聞にも取り上げられた幽霊騒ぎの噂、会えるか？会えないか？幽霊が出てきたらどうするか…などと呟きながら長さ 298m のトンネルを出て安堵した昭和 43 年、高一の遠い夏の日であった。

歳が嵩みいつしか、あの関山隧道に行って見たいと遊び心が出てきた五十路も半ば、隧道は鉄格子がされたもののあの時の光景がそのままタイムトンネル、吹き抜ける日本海の涼風は遠い夏の香りそのものの、そして関山界隈の山稜へ吸い込まれ今は私の遊び場となっている。

このたび、関山街道フォーラム協議会主催の「関山隧道と嶺渡り」探訪会にお手伝いすることができました。毎回の応募者は凄く、抽選で幸運の切符を手にした老若男女の方々は作並の岩松旅館に集合、前日の 28 日は大雨で、当日も雨が残る天気予報ながらも笑顔がこぼれます。

送迎バスにて 48 号線の宮城県側スノーシェッドがある手前の駐車帯で準備体操をして出発、広瀬川上流となる風倉沢には、スタッフにより仮橋がかけられており、難無く渡河できました。坂下境目御番所跡では、旧関山隧道開盤殉職の碑に御焼香し、26 名の慰霊と行程の無事を祈願します。

江戸時代と明治時代の人々の往来を辿る道の始まりは嶺渡り一番の急登で、取り付けたロープを頼りに 80m の高度を 15 分程で登り切る。交差部から関山隧道まではほぼ平坦、山桜、コブシ、ワサビの花が出迎えてくれて一同は大喜びだったでしょう。関山隧道口は山形側から吹き抜ける突風、寒さに耐えながら参加者一同は笑顔での撮影です。往路を戻って、いよいよ嶺渡りの古道には昨年に取り付けたアルミハシゴを登れば快適な尾根へ辿ります。牛馬は通れたのだろうか…

細い尾根道はブナの巨木も多く、フカフカの落ち葉でクッションが効いています。山頂で昼食を取って「先週まではイワウチワの花街道でしたよ」と、お喋りしながらあつという間の 5 時間が過ぎました。北海道沖で急速に発達した低気圧の影響で、暗雲となった山形側は強風と時折パラパラと雨が走り始めましたが、古道を下りた時は耐風雨訓練となつてしまい濡れた方も多数おりました。整理体操を終えると青空のなかに送迎バスが迎えに来ており、喜びのなか皆さん笑顔で乗り込み無事嶺渡りを歩くことができました。

さて、題目の「大峠」ですが、「船形連峰御所山案内・S47.8/20 船形連峰御所山開発促進期成同盟会発行」193p の地図から引用しました。元禄年間、仙台藩御領分全図（宮城県登米町蔵）には坂下（御番所跡）の上に大峠と表記されていますのでご紹介し。

あらためて、スタッフの方々の準備とお心遣いの数々に感謝いたします。

仙台市広瀬市民センター連携

『よみがえるふるさとの歴史』 ～地域資源の存続と意義を考える～

連続講座
開催中

講師：天野真志氏（東北大学災害科学国際研究所助教）

地元学講師：秋山榮作氏（愛子の郷交流会）

地域に眠る貴重な歴史資料の探索・記録・保存方法を体験し、その手法と意義を学ぶ講座として、9 月より始めました！

1	9/26（土） 東北大学 災害科学 国際研究所	* 古文書レスキュー・ ワークショップ	
2	1/31（日） 広瀬市民 センター	* 講話 * 映像鑑賞 「歴史資料保全の取り組み」（BS12 放映）	
3	2/13（土） 広瀬市民 センター	* 地元学 * 旧宮城町・ 文化財マッピング	
4	3/12（土）	探訪会 * 諏訪神社～御殿城～ 同慶寺など	
5	5/14（土）	探訪会 * 千代老堀～南館～ 青木明神～安養寺など	

「作並駅転車台」見学会 鉄の道部会

日時：2015 年 11 月 5 日（木） 11:00～12:30

場所：作並駅構内 【転車台】見学スペースにて



次回見学会 決定！

6 月 10 日（金） 11:00～

* 作並駅前集合 参加費無料

JR 東日本仙台支社奥新川駅名譽駅長 脇坂義之氏が平成 27 年 11 月に逝去されました。仙山線鉄道施設群が選奨土木遺産認定されるにあたり、大変ご尽力され、またこの見学会の説明役をお引き受けくださっており、感謝するとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

